

実 施 要 項

大会名称 : パーモントカップ第 26 回全日本少年フットサル大会 東京都決勝大会

主 催 : 公益財団法人東京都サッカー協会

主 管 : 全日本少年フットサル大会東京都大会実施委員会

協 力 : (株)モルテン

期日・会場 : 平成 28 年 6 月 11 日(土) 立川市泉市民体育館 (所在地: 立川市 泉町 786-11)

6 月 18 日(土) 墨田区総合体育館 (所在地: 墨田区 錦糸 4-15-1)

参加チーム : 参加チーム数は、32 チームとする。

東京都少年サッカー連盟各ブロック予選を勝ちあがったチームであること。

また、当大会一般予選を勝ちあがったチームであること。

参加資格 : 参加チームは、以下の通りとする。

1. フットサルチームの場合

① 公益財団法人日本サッカー協会(以下、「日本協会」とする。)に「フットサル4種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。

② 前項のチームに所属する 2004 年 4 月 2 日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。

③ 外国籍選手は 1 チームあたり 3 名までとする。但し、ピッチ上にいる選手が 2 名を越えてはならない

2. サッカーチームの場合

① 日本協会に「4 種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。

② 前項のチームに所属する 2004 年 4 月 2 日以降に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。

③ 外国籍選手は 1 チームあたり 3 名までとする。但し、ピッチ上にいる選手が 2 名を越えてはならない

3. 都道府県大会を通して、選手は、他のチームで参加していないこと。所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。

4. チーム代表者は、20 歳以上であり、当事者能力があること。

競技形式 : 1.1 次ラウンドは、出場チームを 4 チームずつのグループに分け、1 回戦総当たりとし、各グループ上位 1 チームが 2 次ラウンドに進出する。

2 次ラウンドは、8 チームによるノックアウト方式により優勝チームを決定する。(第 3 位決定戦は行わない)

2. グループリーグにおける順位決定方法は、勝 3 点、引き分け 1 点、負 0 点の勝点により、勝点の多い順に順位を決定する。但し、勝点の合計が同一の場合、以下の順にて決定する。

(1) 当該チーム間の対戦成績

(2) 当該チーム間の得失点差

(3) 当該チーム間の総得点数

(4) グループ内での総得失点差

(5) グループ内での総得点数

(6) 下記に基づく警告、退場のスコアがより少ないチーム

① イエローカード 1 枚 1 ポイント

② イエローカード 2 枚によるレッドカード 1 枚 3 ポイント

③ レッドカード 1 枚 3 ポイント

④ イエローカード 1 枚に続くレッドカード 1 枚 4 ポイント

(7) 抽選

但し、試合が、一方のチームの責に帰すべき事由により開催不能または中止となった場合(不戦敗等)には、その帰責事由あるチームは 0 対 5 で敗戦したものとみなす。

① マッチコーディネーションミーティングに出席しなかった場合。

② キックオフ時刻に競技者が 3 名未満の場合。

尚、悪天候、地震などの天変地異、または公共交通機関の不通その他いずれのチームの責にも帰すべからざる事由の場合は除く。

競技規則 : 1. 当該年度日本協会制定のフットサル競技規則による。但し、以下内容については、当大会においてのみ適用する。

①ピ ッ チ : 大きさ : 長さ 32m × 幅 16m

センターサークルの半径 : 2.5m

ペナルティーエリア四分円の半径 : 5m

ペナルティーマーク : 5m

第 2 ペナルティーマーク : 8m

交代ゾーンの長さ : 4m

②守備競技者のボール等から離れる距離

フリーキック : 4m

コーナーキック : 4m

キックイン : 4m

2. 試合時間は、以下のとおりとする。

1次ラウンド 14分(7分ハーフ)タイムアウトなしのランニングタイム(ハーフタイムのインターバル1分)

尚、同点の場合、延長戦・ペナルティーキック(PK)方式は行わず、引き分けとする。

2次ラウンド 20分(10分ハーフ)のプレーイングタイム(ハーフタイムのインターバル5分)

尚、同点の場合、延長戦は行わず、ペナルティーキック(PK)方式により次回戦進出チームを決定する。(決勝についても同様)。

また、日本協会などが行う第3種以下のフットサル競技会においては、次の規則を適用する。

第12条 ファウルと不正行為

ゴールキーパーが手で投げた後、または足で蹴った後、ボールが競技者に触れるかプレーされる、あるいはピッチ面に触れる前にハーフウェーラインを越えたときは、相手側チームに間接フリーキックを与える。間接フリーキックは、ハーフウェーライン上の任意の地点から行われる。

第16条 ゴールクリアランス

ゴールクリアランスされた後、ボールが競技者に触れるかプレーされる、あるいはピッチ面に触れる前にハーフウェーラインを越えたときは、相手側チームに間接フリーキックを与える。間接フリーキックは、ハーフウェーライン上の任意の地点から行われる。

3. ベンチに着席できる人数は、フットサル大会登録票により当大会に予め登録されており、試合開始前に提出のメンバー提出用紙に記載されている交代選手5名、役員3名の合計8名を上限とする。チーム役員については、事前に大会登録されている最大8名の中から3名を越えないチーム役員が試合登録され、ベンチに入ることが認められる。試合登録において役員及び選手を兼任する場合は、ベンチ入りの人数においてチーム役員・選手双方に含まれるものとする。チーム役員が3名を超えない場合に限り、試合に出場しない大会登録選手の中からチーム役員として試合登録ができ、ベンチに入ることが認められる。この際の服装はユニフォームではなく、選手と区別できる服装を着用しなければならない。

尚、試合開始時に最小3名の競技者がいる状況において、試合開始以前に提出されるメンバー表に記載され、かつ大会登録選手であり、出場資格を有すると確認されている競技者が、試合開始時に不在の場合、以下のとおりとする。

- ① 試合開始(前半キックオフ)後、ピッチに到着した場合
その競技者は、前半は出場できず、ベンチに入ることもできない。
- ② 後半開始(後半キックオフ)前、ピッチに到着した場合
試合開始から後半開始までの間にピッチに到着し、ハーフタイムの時間内に主審の承認を得ると後半開始時よりその試合に出場することができ、ベンチに入ることもできる。
- ③ 後半開始(後半キックオフ)後、ピッチに到着した場合
その競技者は、その試合に出場することはできず、ベンチに入ることもできない。

4. 当大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置については当大会規律委員会にて裁定する。当大会期間中、警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。

5. 試合球は、(株)モルテン社製フットサル用3号ボール(日本協会検定球)を使用する。

組合せ : 組合せは、当大会実施委員会において抽選で決定する。

参加申込 : 1.1 チームあたりの登録人数は、フットサル大会登録票に登録し得る選手20名、役員8名を上限とする。

2. 指定期日までに事務諸手続き(参加申込用紙・フットサル大会登録票写等の書類提出、参加費納入)を完了しなければならない。手続き内容については別途通知する。

3. フットサル大会登録票提出後の内容(選手変更、背番号、ユニフォーム等)の変更は認めない。

選手証 : 各チームの登録選手は、日本協会発行の選手証(写真が貼付されたもの)もしくは電子登録証の写し(写真が登録されたもの)を、試合会場に持参すること。選手証もしくは登録証が確認できない場合は、試合に出場できない。

参加費 : 6,000円

用具 : ユニフォームについては、日本協会ユニフォーム規程に則る。但し、当大会においては、以下の通りとする。

1. ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ストッキング)は、フィールドプレーヤー・ゴールキーパーとも正のほかに、副として正と異なる色彩のユニフォームをフットサル大会登録票に記載し、必ず競技場に携行すること。但し、選手全員が携行及び着用するユニフォームは、正副ともフィールドプレーヤー・ゴールキーパーのそれぞれすべてが同色・同デザインのものとする。

また、チームユニフォームのシャツは、審判と同一(黒)又は類似ユニフォーム(紺など)を用いることはできない。尚、シ

ヨーツ・ストッキングについては、この限りではない。

2. 競技開始後、フィールドプレーヤーがゴールキーパーとしてプレーする場合のユニフォームは、以下の通りとする。
ゴールキーパーのシャツと同色・同デザインであること。（ショーツ・ストッキングについてはゴールキーパーと同色・同デザインでなくても認められる）競技者が着用するシャツにはその競技者自身の背番号を付けなければならない。負傷や退場処分等の突発的な諸事情により、交代要員のゴールキーパーが不在でかつ準備が整っていない場合、主審の判断により、ゴールキーパーのシャツを前述以外のシャツにより代用することができる。
3. アンダーウェア(アンダーシャツ・ショーツ・タイツ)を外に露出して着用する場合は、シャツやショーツの主たる色と同色とする。尚、同系色は認められず、外に露出することはできない。
4. ユニフォームの広告(規格外のユニフォームメーカーロゴマーク等を含む)表示については、日本サッカー協会ユニフォーム規程に基づき、日本協会の承認を得た場合のみ認める。また、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームの負担となる。
5. 選手番号は、フットサル大会登録票に記載され、明確に判別しうる選手固有の番号を付けること。番号については1から99までの整数とし、0は認めない。1番はゴールキーパーのために用意される。
6. シューズは、キャンバスまたは柔らかい皮革製で、靴底がゴムまたは類似の素材でのトレーニングシューズまたは体育館用シューズタイプのみが許される。尚、靴底の接地面は白色・アメ色・無色透明とする。ピッチ面を傷つけたり、着色する恐れのあるシューズは認められない。
7. 選手の装身具（ネックレス、ピアス、指輪、ミサンガ 等）については、すべて取り外すこととする。
ただし、ヘッドギアやフェイスガードなど特殊な例については、主催者の認めたものに限り使用可とする。使用の可能性がある場合は、事前に大会実施委員会へ確認すること。

表 彰： 優勝、第2位、第3位を表彰する。

出 場 権： 優勝チームは全国大会(2016 年 8 月 12～14 日／東京・駒沢体育館、大田区総合体育館)に出場する義務と権利を有する。

傷害補償： 怪我などの事故が発生した場合、主催者は一切の責任を負わない。各チームで傷害保険に必ず加入すること。

そ の 他： 1. 参加チームは、競技の進行が円滑にできるよう別紙『競技運営について』を遵守すること。

2. 審判は、主催審判委員会より派遣される。

3. 本実施要項に定められていない事項については当大会実施委員会にて判断する。

大会に関する申込・お問合せ先	全日本少年フットサル大会東京都大会事務局 〒113-0033 東京都文京区本郷 3-10-15 JFA/ハウス6F (公財)東京都サッカー協会内 TEL 03-6801-8001 FAX 03-5800-5525
----------------	---